



旅館街も水に浸かりそう。7月14日午前10時頃

7月の北部九州豪雨は、市内の至る所に大きな被害をもたらしました。災害の様子を多く見てきましたが、印象に残っているのが三隈川の氾濫寸前の恐怖です。堤防のテッペンまであとわずか、に迫ったときには、「こりゃ大変と」ブルとききました。

みぞぐちとし

4日から23日までほぼ連日、4地区22カ所に昨年東日本大震災で一緒に活動した「日本緊急救援隊」のメンバーとボランティアに行きました。床下などの泥出しが主な仕事でした。ここは大山吾々路の綿打ですが、土砂の凄さに唖然としています。



串川町1丁目の橋梁の崩壊。長仁田方面は一時孤立状態になりました。



九州豪雨災害の概要

全壊	13棟
半壊	24棟
一部損壊	72棟
床上浸水	742棟
床下浸水	1,118棟

主な建物被害

道路・河川等の被害

道路被害	578箇所
河川被害	300箇所
耕地災害	2,555件
林業施設被害	287件

土木・建築部門関係	道路・橋梁・河川	36億8千万円
	下水道	2,300万円
	公園等	4,600万円
	水道関係	3,100万円
	合計	37億8,400万円
農地及び農業用施設		47億1,000万円
林道及び作業道		3億9,600万円

市管理施設の被害額、復旧費の概略



8月28日市長に対し 災害復旧に関し要望書を提出

た。被災者の不安は大きく、一日も早い復旧のため、緊急対策を待ち望みます。

今回の豪雨災害では、市内各地で家屋、田畑、山林、生活道路等が災害に見舞われました。そのため、その応急措置の方法や本復旧の手続き等に多くの不明点が指摘され、多数の問い合わせ等が続いている。

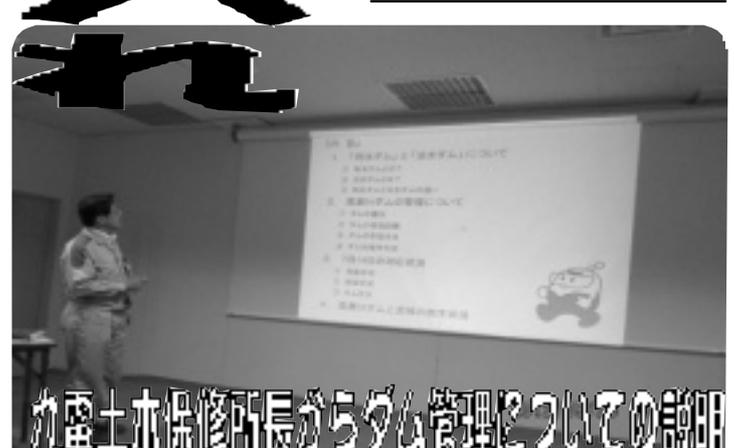
状況でした。高瀬振興協議会では被害箇所については、各自治会長に把握をお願いし地区の要望書としてまとめ、8月23日市長に対し申し入れを行いました。



が地元で多くありました。そのことを受け、高瀬振興協議会では、九州電力日田土木補修所に要望書を提出し、9月26日九電女子畑発電所において、振興協議会の役員、地元代表者と私、古田市議とを交換意見の交換会を行いました。

保修所長から「17日の高瀬川ダムの状況」等の説明を受け、話し合いに入りました。結果、原因については課題を残しましたが、復旧の進捗について行政に対し要請を行うこと。今後の防災、流木対策等について県など関連機関に九電からも強く申し入れること。平常時における河川や水路の汚濁について、今後行政、九電、地元を交えた話し合いの場を持つこと等を確認しました。また今回の議事録が次策、内容を確認し、さらに話し合いの場を持つよう進めていきたい。

14日の豪雨で、高瀬川に架かる橋梁が5箇所全壊または損壊しました。高瀬地区内では、特に大町の被害が大きく農地・農業用施設の地区全体の被害額7億6千万円のうち大日町だけで6億3千万円にもおよんでいます。原因として、ダムに溜まった流木が一気に流失し被害が大きくなったとの声



九電土木保修所長からダム管理についての説明

市管理の道路等公共施設の被害状況

項目	箇所数	事業費
道路災害	46	5億1,908万円
河川災害	53	6億1,050万円

項目	箇所数	金額
市営急傾斜地崩壊対策事業	9	6,600万円
県営急傾斜地崩壊対策事業負担金	3	600万円

農地・農業施設の被害の状況

農 地						
	田		畑		合 計	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
7月4日	827	8億2900万円	170	2億9300万円	997	11億2200万円
7月14日	417	6億9400万円	116	1億3200万円	533	8億2600万円
合計	1,244	15億2300万円	286	4億2500万円	1530	19億4800万円
高瀬地区	75	2億549万円	14	2390万円	89	2億2939万円



畑の前壊箇所
今後の耕作は可能か？

農 業 用 施 設								
	水 路		道 路		橋 梁		合計(ため池、頭首工含む)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額
7月4日	409	7億2400万円	177	3億1500万円	18	5100万円	704	15億600万円
7月14日	167	3億9400万円	90	1億5200万円	8	4億5100万円	321	12億5600万円
合計	576	11億1800万円	267	4億6700万円	26	5億200万円	1025	27億6200万円
高瀬地区	13	2008万円	19	2665万円	5	4億5000万円	45	5億3353万円

災害復旧の補助率

災害復旧費が40万円を超えるもの (市の予算額 13億1800万円)	農 地	国 90%	市 4%	地元 6%
	農業用施設 (道路・橋梁等)	国 90%	市 5%	地元 5%
災害復旧費が10万円から40万円 未満のもの (市単小災害復旧事業補助金) 市の予算額400件分6000万円	農 地	市 50%	地元 50%	
	農業用施設 (道路・橋梁等)	市 65%	地元 35%	

林業関連の被害状況と復旧予算

林道災害復旧工事費	13路線・18箇所	9,466万円
林道小規模工事費	52路線・182箇所	5,750万円
市単小災害復旧事業補助金	127路線	2,760万円
工事費が10万円～200万円までのもので補助率は65%		



中津～日田高規格道路

- ・現在の進捗状況は、平成25年3月末までに、耶馬溪～本耶馬溪間の延長約5kmが供用開始される。
- ・促進期成会で本年8月に、国交省、財務省に要望を行う。
- ・地元出身の国会議員にも、積極的な支援を要請。
- ・要望の内容は、日田側からの早期着工。日田～山国町間10kmについて調査区間から整備区間への格上げ。
- ・今後の予定、10月に県知事へ要望。来年度日田市において高規格道路促進期成会の総会の開催。

復興支援と市内景気の活性化へ

経済対策として発行された「プレミアム商品券」は、今年度政府の対策が終了したこと、予算化されていかなかった。しかし、先の豪雨による市内景気が沈滞していること

や市内経済団体からの強い要望等もあり今年度の11月から来年の1月にかけて2回に亘り5億5千万円分10万冊を発行することになった。人気もあり、市内景気の活性化に期待している。

併せて今年度も、日田のグルメを集めた大屋台村も開催され、沈滞ムードの解消に期待大である。

人件費20%削減はどうなってるの？

市役所の総人件費の2割カットは、原田市長の公約ですがどのように進んでいるのでしょうか、という意見を多く聞きます。

市長のいう総人件費とは、市長、副市長、教育長や市職員の給与、各種委員の報酬、短期雇用職員の賃金を指します。それらについて、事務事業の見直しで、業務の指定管理者や民間への委

託、また事業仕分けの取り組みや行政組織のスリム化、今年度は実行できなかったが、7月8月の時間外勤務の禁止などを実施していると説明されています。

しかし、この間の取り組みでどれ位削減されたのか数字的なものが示されていません。今後も削減について積極的に進めるとしていますが、明確な数字を指し示すべきだと考えます

夏休み短縮はどう進めるのかと教育委員会人事

「夏休みの5日間」短縮問題で市の教育界が揺れています。

一番懸念されるのは、教育長のトップダウンで、先生や保護者等関係者の意見を充分検討せず実施されることです。教育長は、「理解を得るのに時間がかかって進めて行く」としており、「実施ありきが既定ではない」取り組みをすべきです。

合原教育長の教育委員への再任を含む、委員会人事が問題点は指摘されたが全会一致で承認された。

緊急雇用創出事業の追加

リーマンショックから3年間、緊急雇用創出事業で対策を実施していたが、依然として雇用情勢が厳しく実施期間を延長して追加するもの。

予算は4,028万円、8事業27人の雇用を行うが短期の雇用のみであり本格的な救済にはほど遠い。

プラスワン

先般の豪雨により被災された皆様にお見舞い申し上げます。10月15日から国や県の関係機関による被害査定が始まり、本格的な普及作業が始まるものと思われま

す。一日も早い復旧を心からお祈りします。

そういう中にあるのもスポーツの秋は到来し我が町内も、十数年ぶりに校区的ソフトボール大会に出場しました。

年齢層が、若干他町内よりも若いこともあり3位(一回勝ちただけ)になりました。日頃疎遠のメンバー(写真に写って

いる)もこの時ばかりは、仲良く頑張ったので、あとの「打ち上げ」ではホームランとファインプレイが続出し、優勝でもしたかのような勢いでした。

みんなで一つのことをやると云う楽しさを思い出させた充実した秋の一日になりました。



久しぶりのメンバーが揃ったので記念撮影